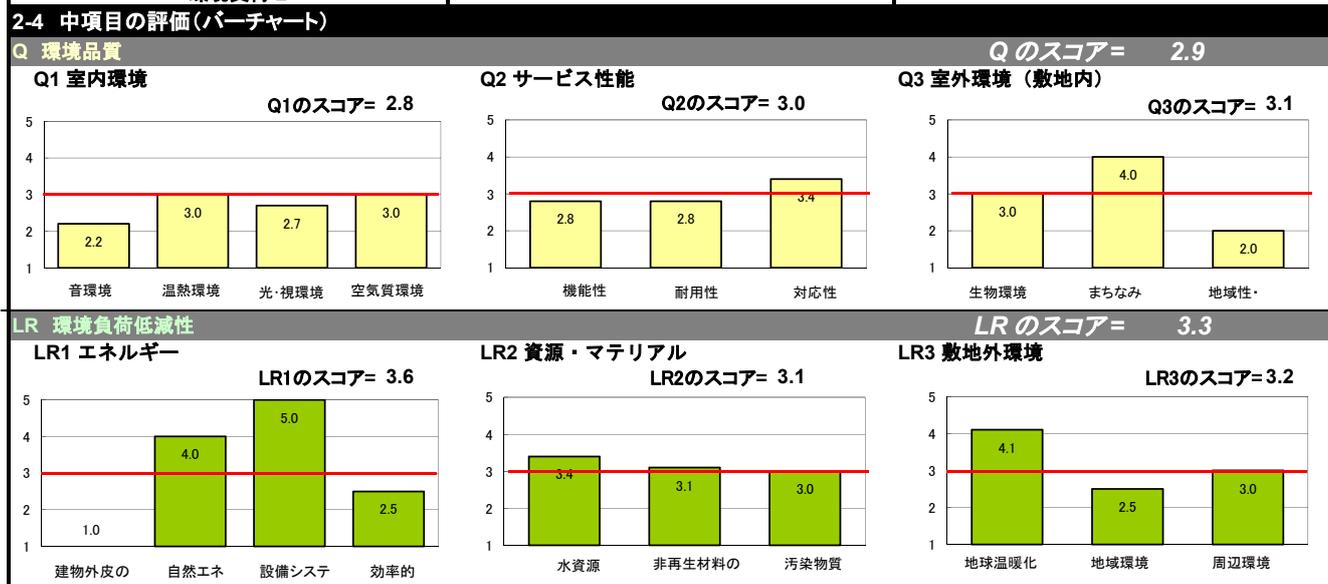
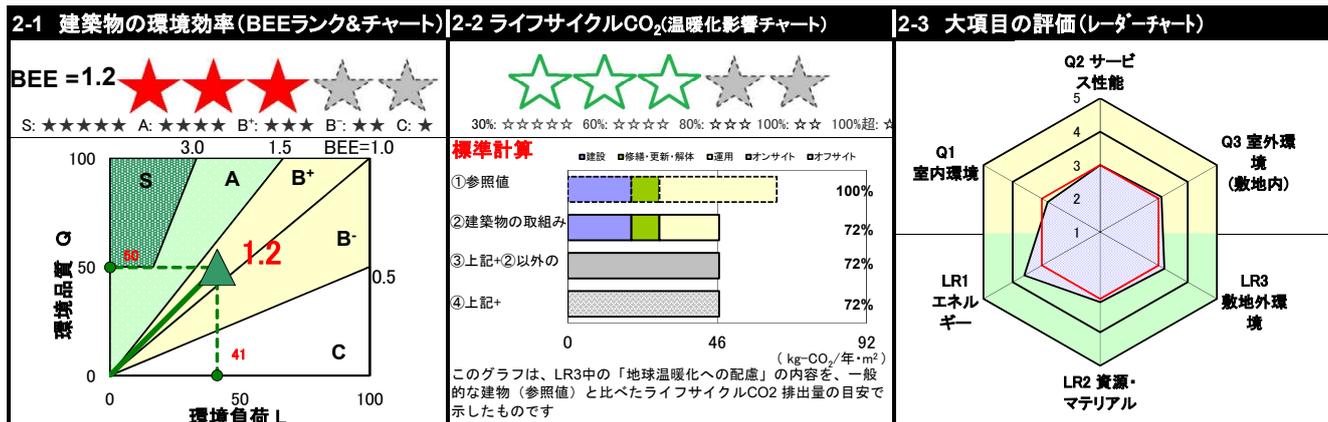


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取中央物流センター「RYUTSU」	階数	地上1F
建設地	鳥取県東伯郡湯梨浜町大字赤池60	構造	S造
用途地域	区域区分非設定	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年6月 竣工	評価の実施日	2021年9月22日
敷地面積	9,933 m ²	作成者	遠藤恒明
建築面積	3,555 m ²	確認日	2021年9月24日
延床面積	3,263 m ²	確認者	遠藤恒明



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>保管する物品の品質を保ち、安心安全な環境や機能性、合理性、働きやすさなどを考慮した施設計画とした</p>		その他
<p>Q1 室内環境</p> <p>天候や外気温に左右されず、物流環境の整った室内環境計画とした</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>天井を高く計画し、圧迫感のないよう配慮した</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内緑化の計画をした</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>ヒートポンプエアコン、LED照明器具を採用した(高効率機器)</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマ付水栓、節水型器具を採用した</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>境界付近に緑地を設け、施設利用者及び隣接者への配慮をした</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される